



創世会  
山本裕三

**民間事業者との連携強化による更なる防災力向上施策を**

**Q** 災害時の対応策として、地域のホテル・旅館との利用協定や、スーパー・ホームセンター等集客施設でのハザードマップ配布、防災に関しての情報発信など民間事業者とのさらなる連携強化が必要と考えるが見解を伺う。

**防災を意識できる環境づくりに努めていく**

**A** 県と市それぞれで旅館組合と災害時における施設利用の協定に向けた協議を進めています。また、スーパーやホームセンターなどと物資供給等のパートナーシップ協定の締結を進めています。特にホームセンターでは、平常時から防災用品を集めた防災コーナーを設け、防災ガイドブックも配布していただいています。今後もさらに協力事業所を増や

し、日頃から生活の中で防災を意識できる環境づくりに努めていきます。

**地域の特色を活かした更なる防災意識向上施策を**

**Q** 自然災害をより「我がこと」と思っていたただけるように、地域のみなさんと協働で制作を行う地域別の防災啓発ポスターが必要と考えるが見解を伺う。

**要望があれば地域と協働で作成する**

**A** 地区防災計画の策定や見直しを進める中で、要望があれば公会堂等に掲示できる地域のオリジナル啓発ポスターを、地域と協働で作成するよう努めていきます。



豪雨災害による倒木

【その他の質問事項】  
・保険者機能強化推進交付金に関して



日本共産党  
勝川志保子

**メガ風力発電施設は環境保全に留意して導入検討を**

**Q** 八高山周辺に建設予定の風力発電施設（仮称ウインドパーク遠州東部風力発電事業）が環境アセスメントにかけられている。保安林・水源かんよう林・鳥獣保護区である場所への建設は環境保全や防災の立場から、十分な市民合意形成と検討を。



風力発電施設計画のある掛川市北部八高山周辺（市役所からのぞむ）

**事業者と協議しながら、適切な措置を講じていく**

**A** 地球温暖化防止や温室効果ガス排出抑制の観点から再生可能エネルギーは普及させてい

く必要があり、掛川市としても適切な導入を進めていきます。現段階では、具体的な計画内容が示されていないので今後の事業者の動向を注視して、基礎自治体として適宜、必要な措置を講じていきます。

**安心して年が重ねられる介護保険制度に**

**Q** 介護を自己責任にせず、行政が責任を持った運用をする事が重要。介護度の低い段階での適切な介護認定やケアマネジメントによって重症化も防ぐ事ができるのではないか。

**適切な時期のサービス提供が重度化防止に有用である**

**A** 適切な時期のサービス提供が重度化防止に有用であると考えています。地域包括支援センターやケアマネジャー、市職員、リハビリステーション職員が、適切な時期に要介護認定申請の案内や介護保険サービスの導入などの検討を行っています。